

大町市地域公共交通総合連携計画
《これからの大町市の公共交通を考える》

～ダイジェスト版～

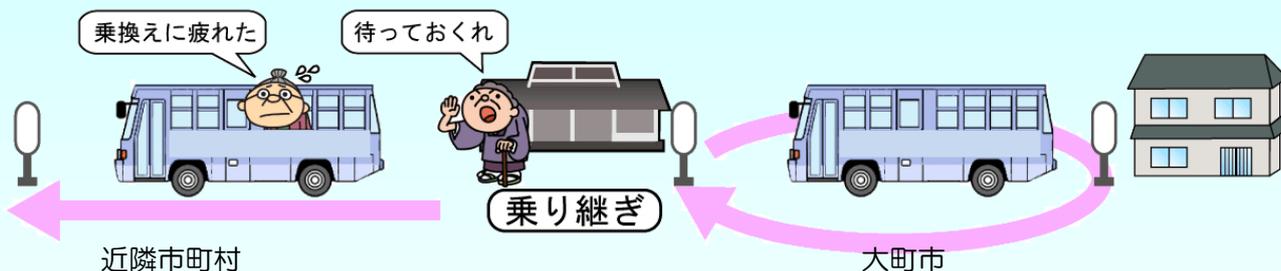


平成25年3月

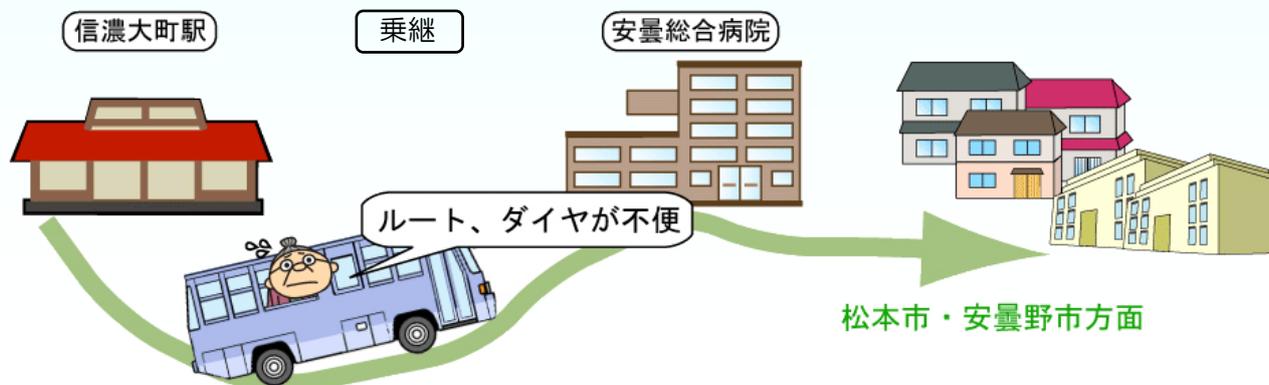
大町市

(2) 大町市から市外へのアクセス向上

○近隣市町村へのバス接続、乗り継ぎの強化・検討



○松本・安曇野方面へのアクセス向上、通勤・通学・通院への対応



○バスとJR大系線との乗り継ぎ強化



○長野方面へのバス・鉄道の利便性の向上



将来像

「地域住民の利用しやすい交通体系の整備」(大町市第4次総合計画)

「安心して暮らせる公共交通体系の構築」

基本方針

暮らしを支える

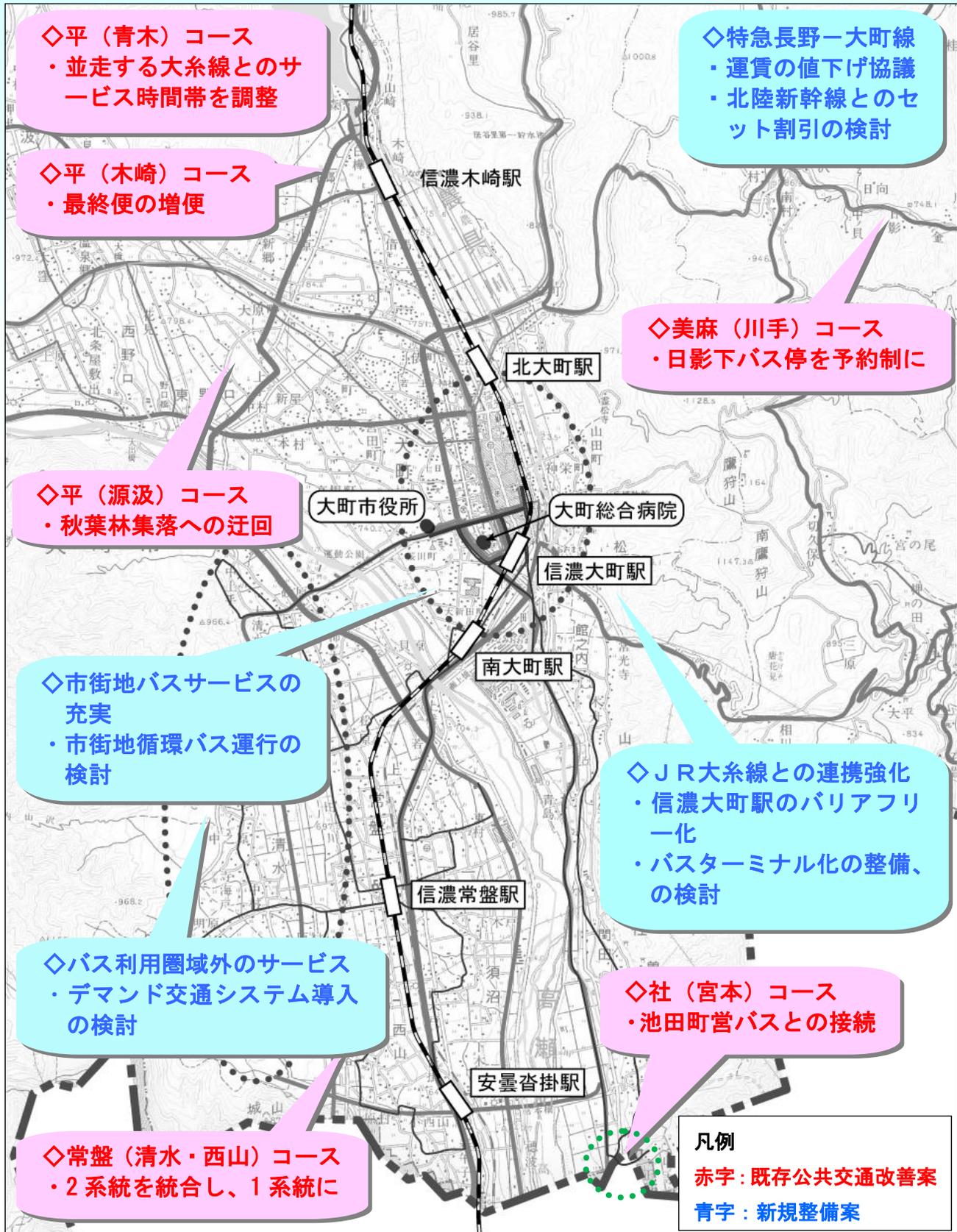
利便性を高める

公共交通を維持する

公共交通の目標

- 北陸新幹線(長野〜金沢間)の開業に向けた長野新幹線駅へのアクセス強化
- 市民バスの利用促進
- 地域間交流の促進に寄与する公共交通体系の構築
- 公共交通の継続的運行による高校生・高齢者等交通弱者の移動手段確保
- 交通空白地帯の解消や住民要望に配慮した公平な公共交通サービスの提供
- 中心市街地の活性化促進に寄与する公共交通体系の構築
- 鉄道とバスの接続強化による住民・観光客の移動円滑化

「安心して暮らせる公共交通体系の構築」という将来像を実現するため、図のような具体的施策の実施を検討します。



「将来像実現のための施策」の実施時期を短期（平成 25 年～29 年）、中期（平成 30 年～34 年）、長期（平成 35 年以降）に分類し、出来るところから施策を進めます。

項目		具体的施策	実施時期
市民生活を支える 公共交通手段の確保	大町市民バス	◇平（青木）コースについて、並走する大糸線（信濃大町駅～築場駅）とサービス時間帯をずらす	短期
		◇比較的利用者の多い平（木崎）コースの最終便の増便	中期
		◇社（宮本）コースの正科バス停での池田町営バスとの接続強化	短期
		◇美麻（川手）コースの日影下バス停を予約制（もしくは廃止）とし、市街地までの運行時間の短縮	短期
	地帯解消策 交通空白	◇比較的利用者の少ない平（源汲）コースの迂回により、秋葉林集落へのバスサービスを提供	中期
		◇常盤（清水・西山）コースを1系統化し1台で運行（循環型） ◇利用圏域外となる地域（西側）にデマンド交通システムを導入	短期
の強化 中心市街地の活性化支援 と市外との移動機能	バス路線	◇特急長野大町線の運賃の値下げ協議	中期
		◇特急長野～大町線と長野（北陸）新幹線のセット割引の検討	中期
	中心市街地 活性化支援策	◇住民から要望のあがっている、市街地循環バスを運行し、中心市街地周辺の移動の足を確保	中期
		◇信濃大町駅のバリアフリー化	長期
		◇主要交通結節点となる信濃大町駅周辺を、市民及び観光客等が利用しやすいバスターミナル化への整備の検討	長期
公共交通を地域が 守り育む仕組みの構築	◇地域住民、バス事業者、行政の連携強化	短期	
	◇ノーマイカーデー実施の検討（通勤可能ダイヤの検討）	中期	
観光、福祉、教育、 近隣市町村等との連携	◇大町市各課との連携による利用者要望等情報の共有化	短期	
	◇近隣市町村との連携による地域間交流の促進	短期	
	◇他の公共交通機関（JR 大糸線、北陸新幹線、タクシー等）との連携による地域間の交流促進	短期	
	◇信濃大町駅の観光客受け入れ体制の充実	短期	

※大町市地域公共交通総合連携計画について詳しく知りたい方は、各公民館、大町市総合情報センターで計画書の全文を閲覧することができます。

また、大町市のホームページにも本編を掲載しております。(http://www.city.omachi.nagano.jp/)

■ 大町市 総務部 情報交通課 TEL 0261-85-0070 FAX 0261-21-3801